

C O R P O R A T E P R O F I L E



株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

より健やかな社会へ

For a Healthier Community

平素より私ども企業グループを支えていただいている皆さまの温かいご理解とご支援を心より感謝申し上げます。

海外では激動する世界情勢に於いて戦後秩序が大きく様変わりをし、新たな冷戦時代の幕開けを感じさせるような大国間での緊張が生まれています。2022年2月に起きたロシアによるウクライナへの軍事侵攻によりヨーロッパで長年中立を保っていた幾つかの国がNATO（北大西洋条約機構）への加盟に舵を切るなど、第二次世界大戦直後からの東西冷戦が蘇ったかのようです。

我が国経済に於いては失われた30年を経て、その行く末に薄明かりが見えてまいりました。物価上昇率2%目標はまだ道半ばとは言え、雇用状況は大いに改善してまいりました。しかし対ドルでの円安は構造的であり、当面の間は解消しそうにありません。経済全体として円安はGDPの引き上げ要因となりますが、一部の輸入品を中心に物品価格の値上がりによる生活への影響が懸念されます。より一層の金融緩和、財政出動と規制緩和が待たれるところであります。

そして我が国は人類が経験したことのない超高齢社会を迎えます。保健・医療・介護・福祉を地域ごとに統合する地域包括ケアシステムの構築が国策として推進されているところであります。

医療も介護も保険財政が逼迫しており政策の総動員で伸長抑制策が講じられております。しかし政府の予測では社会保障給付は全体として年率2%前後で伸長をしていき2025年では年間140.6兆円規模（2040年には約190兆円）に増加するということが発表されました。

成長し続ける社会保障関連の市場において私たちほくやく・竹山ホールディングスは地域包括ヘルスケア企業グループ（Community-Based Integrated Healthcare Corporate Group）として保健・予防・診断・治療・リハビリテーション・介護・福祉といった分野で傘下企業のそれぞれの強みを活かし、連帯して競争力を強化してまいります。これによって「より健やかな社会へ（For a Healthier Community）」という企業のスローガン実現に向けて不断の努力を続けてまいります。

今後とも皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう衷心からお願い申し上げます。



代表取締役社長 眞鍋雅信

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス



医薬品卸売事業

医療用医薬品卸売
一般用医薬品卸売
検査試薬卸売
在宅医療関連製品販売
等

(株)ほくやく



医療機器卸売事業

医療機器・医療材料卸売
理化学機器卸売
医療機器修理
医療機器メンテナンス
等

(株)竹山
(株)ノバメディカル
他



薬局事業

保険薬局の運営
一般用医薬品販売
特定機能食品販売
栄養相談
等

(株)そえる
他



介護事業

福祉用具レンタル・販売
介護・福祉サービス運営事業
保育園運営事業
住宅改修
サービス付高齢者向け住宅の運営
等

(株)マルベリー
(株)モルス
他



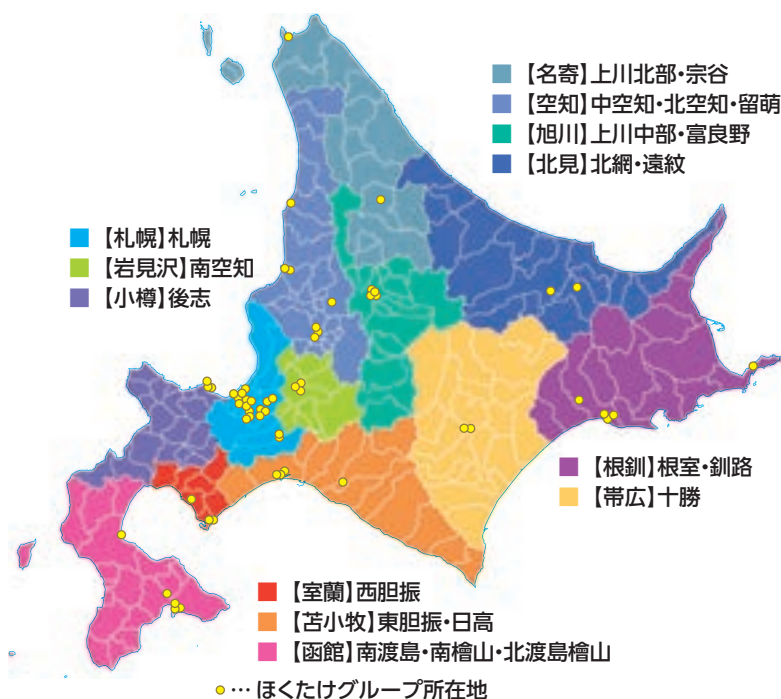
ICT事業 & 関連事業

コンピューター・ソフトウェアの開発・販売等
計算業務の受託
SPD業務
等

(株)アドウィック
(株)北海道医療情報サービス
他

ほくやく・竹山ホールディングスのロゴマークについて

「保健・予防・診断・治療・リハビリ・介護」の各分野で地域社会の健康を支える地域包括ヘルスケア企業グループ (Community-Based Integrated Healthcare Corporate Group) でありたいと私たちは考えています。6つの頂点はそれぞれの分野を表しています。このロゴマークは人々の健康を支える企業としての責任と統合力をモチーフとし、ライトブルーとミドルブルーの連続する紋様は保健・医療・介護・福祉という市場の切れ目のない状態を表すとともに、北の大地を象徴する雪の結晶と清廉な企業の姿勢も表しています。また横に伸びる二本の緑の線は大地であり、広大な北海道に根ざすほくたけホールディングスの姿を表現しています。地域社会の健康な暮らしを支えたいという想いをロゴマークに託しました。



● エリアサミットについて

全国はもとより北海道内においても地域医療構想による医療機関の機能分化と連携が進んでいます。一方で医療と介護の垣根が低くなり自治体の中では地域包括ケアシステムの構築が進められています。

ほくやく・竹山ホールディングスでは事業会社の枠を超えた情報交換と総合的な競争力の強化を試みています。

地域ごとの各事業の責任者が一同に介する「エリアサミット」を開催し、保健・医療・介護・福祉という事業の壁を取り払い、地域ごとの市場の現状把握に努めています。我が国の社会保障制度において必要な製品や一部のサービスが北海道のどこであっても安定的に供給されるようホールディングスを挙げて取り組んでいます。

● 医薬品卸売事業 (P3~P4)

100年の歴史を越えて北海道の生命インフラを担う

北海道No.1の医薬品卸として、道内20ヶ所以上の支店・物流網を活かし、地域密着企業としてそれぞれの地域特性をカバーしながら、よりスピーディーでより安定した医薬品供給に取り組んでいます。

● 医療機器卸売事業 (P5~P6)

最先端の技術と知識でより良い医療環境を実現する

医療機関で使用される医療材料から大型の医療設備機器まで、多岐にわたる医療関連商品を取り扱い、また「メディカル・サポート・サービス・プロバイダー」として、医療現場の「声」に応える情報やサービスを提供しています。

● 薬局事業 (P7)

地域の皆様に信頼される薬局をめざして

道内に60を超える薬局を展開。地域の皆様の健康生活をサポートするとともに、薬剤販売をはじめ総合的な相談窓口としてサービスに努めています。

● 介護事業 (P8)

皆様に寄り添う自立支援のパートナーとして

100歳時代を迎えると言われながら、平均寿命と健康寿命の年齢格差の拡大が進むなど、介護を必要とする人が確実に増え続けています。思いやりのある良質なサービスの提供を通して、一人ひとりが安心して快適な生活を送れるよう支え続けます。

● ICT事業&関連事業 (P9)

医療機関様の円滑な運営と経営をサポート

医療機関向けソフトウェアの開発・販売における専門性を追求。メディカル関連の様々なITソリューションの提案・構築を通じて、医療現場および医療経営を側面からサポートします。

医薬品卸売 事業

【事業運営会社】
株式会社ほくやく



北の元気を支える力として 毛細血管型物流ネットワークで タイムリーに医薬品を提供

平時のみならず震災や噴火などの緊急時にも、医薬品の確保と迅速な供給は変わることなく求められます。全道20ヶ所以上に広がる毛細血管型の物流ネットワークを張り巡らせ、医療機関への配送ルートや連絡体制を構築しています。また併せて、非常時の停電時にも、自家発電装置を設置する等、品質管理に備えています。

100年の歴史を越えて 北海道の生命インフラを担う

コミュニケーションNO.1をめざして

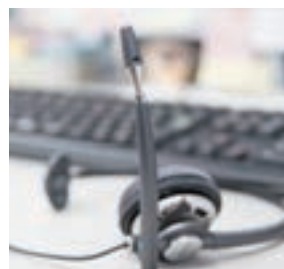
（株）ほくやくには、「マーケティングスペシャリスト（MS）」と呼ばれる営業担当者が約200名在籍しており、全道各地のお得意様のもとへ営業活動を行っています。北海道に特化した企業として地域の環境を把握し、医療業界での使命感を強く感じながら安心と信頼、そして最新の情報をお届けします。ほくやくの合言葉は「コミュニケーションNO.1」。一人ひとりがお得意先様と向き合って信頼の関係を築くことで、少しでもお役に立てるように、これからも“しんか（進化・深化・真価）”を続けます。



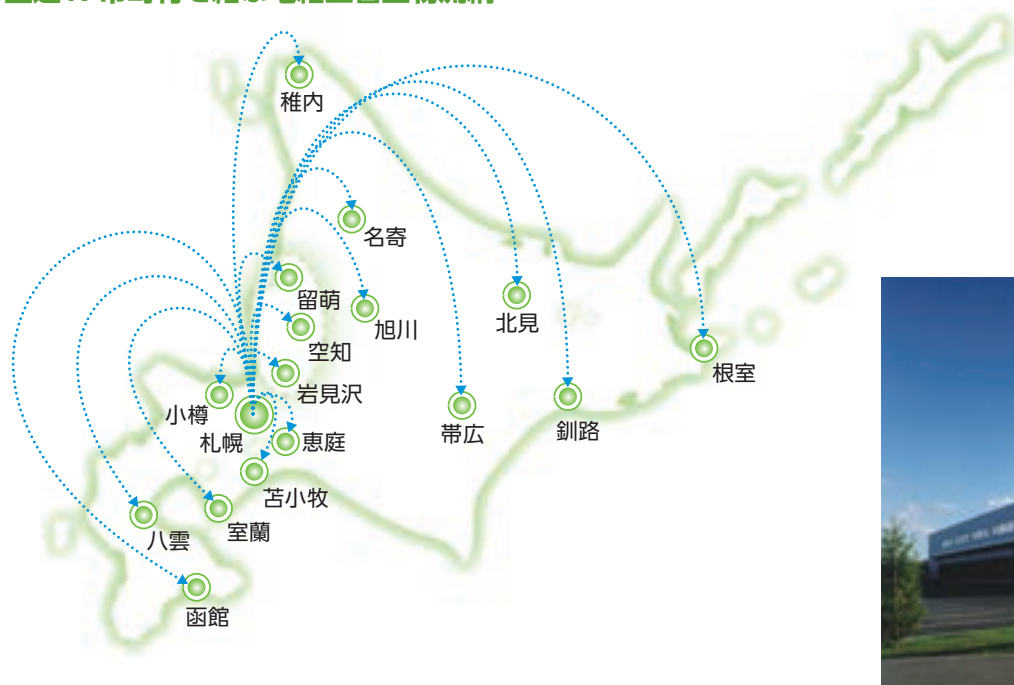
CTI機能を持つカスタマーセンター

声の笑顔をお届けします

業界に先駆けて最先端の高機能カスタマーセンターを開設し、お得意様からの受注体制を札幌1ヶ所に集約することで、業務の大幅な効率化と標準化を実現しています。



全道17市町村を結ぶ毛細血管型物流網



北海道No.1の医薬品卸として、道内20ヶ所以上の支店・物流網を活かし、地域密着企業としてそれぞれの地域特性をカバーしながら、よりスピーディーでより安定した医薬品供給に取り組んでいます。

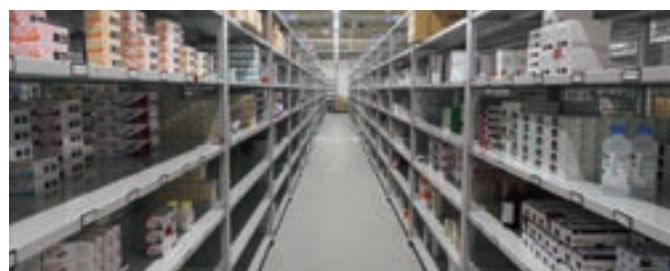
その一例として受注機能の中に、独自のCTI (Computer Telephony Integration) を導入。注文履歴や在庫状況をタイムリーに把握し、センター内には仕入課も併設してスピーディーな対応を可能にしています。お客様とのコミュニケーションの窓口としてはもちろん、適正在庫の維持と安定供給に努め、信頼と満足もお届けできるように取り組んでいます。

地域社会に健康と安心と安全をお届けする医療パートナーとして

北海道全域を対象とした災害時における医薬品等の供給に関する協定を締結

北海道および北海道医薬品卸売業協会との間で、災害時における医薬品等の供給に関する協定を締結しています。

私たちの事業基盤として、北海道全域の隅々にまで配



送網を展開させる中、24時間365日、自社の配送車が全道を駆け巡っています。年間の配送回数は約166万回、出庫点数は約312万回、平均総距離数は北海道を1,644周・地球を123周するほどになります。道内の大切な生命インフラを担っているという責任はもちろん、さらに今後に向けては、医薬品だけではなくほかに何か積み込むことはできるのか、医療機関と調剤薬局だけではなくどこまで届けるのか、といった点も検討しながら、これからも道内の生命インフラを守っていきます。

地域の健康を支える 国有ワクチン医薬品を受託

患者発生の予測ができず需要の見通しが困難なものや、国民の保健衛生上欠くことができないものとして国が指定した医薬品について、2003年4月から国および道からの委託を受け、それらの備蓄・保管・管理および配送業務を行っています。北海道シェアNo.1卸として、国また道からの信頼に応えるべく責任と役割を果たし、スピーディーな対応に努めています。



医療機器卸売 事業

【事業運営会社】

株式会社竹山 / 株式会社テスコ / 株式会社ノバメディカル

多種多様な取り扱い医療機器と 材料群

治療用・施設用機器、画像診断機器、光学機器、人工臓器関連機器、生体情報関連機器、理学療法機器、検査用機器など一連の「医療機器」、および注射器などの一般汎用品から整形外科手術に使用するインプラントに至るまでの「材料・消耗品」を取り扱っています。また近年では、手術用ロボットといった最先端機器を扱う上での技術支援も行うなど、幅広く医療現場の声にお応えしています。

最先端の技術と知識で より良い医療環境を実現する

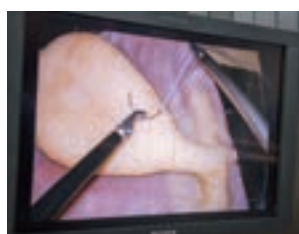
専門領域に特化した ハイレベルな支援とサポート

日々進歩する技術によって開発される新しい医療機器・材料を、医療現場で安心安全に使用して頂くための支援・サポートは不可欠です。(株)竹山ではそれらのニーズにお応えするために、血液浄化／整形外科／画像診断機器／循環器／眼科／低侵襲機器／内視鏡／脳神経外科の、計8領域で特化した専門担当部署を設けています。

また最近では新たな取り組みモデルとして、スマートグラスを活用した現場支援ツールを開発しています。これにより専門部隊のメンバーがその場にいなくても、同じ画像を確認しながら、医療現場の担当者に対して直接指示をすることができます。今後はさらに開発を進め、遠隔医療の支援・サポートへの応用も目指していく計画です。



インプラントセンターの様子



医療機関で使用される診療材料から大型の医療設備機器まで、多岐にわたる医療関連商品を取り扱い、また「メディカル・サポート・サービス・プロバイダー」として、診療現場の「声」に応える情報やサービスを提供しています。

メディカル・サポート・サービス・プロバイダーとしての進化と取り組み

ほくたけメディカルトレーニングセンター 「ヴィレッジプラス」

医療機器の模擬操作のための専門施設として2013年に開設。最新の8K内視鏡システムなど、技術革新の進む先端医療機器の操作トレーニング用各種シミュレーター、視聴覚設備を備えたセミナー室を常設し、医師など医療従事者の方々の専門技術習得と専門能力育成の環境を提供しています。



手術用ロボットシミュレーター「ダヴィンチ」

道内医療機器卸として2つの“初” 「メーカー備蓄センター機能」&「インプラントセンター」

道内医療機器卸としては初となる、「メーカー備蓄センター機能」「インプラントセンター」を擁しています。「メーカー備蓄センター機能」として災害対策用にメーカー品の預託を受けることにより、災害時の安定供給や得意先へのリードタイム短縮を実現。また「インプラントセンター」では、検品や発送のみならず、インプラントの洗浄機能までもしっかりと設け、安全安心な在庫管理を担保しています。

介護事業とのコラボ企画 「医療・介護分野ロボット展」の定期開催

介護現場の労働負担の軽減や利用者の日常生活動作の向上、これらへの貢献を目指して定期開催している「医療・介護分野ロボット展」。毎回、医療・介護関係者や業界関係者、一般来場者など多くの方々に見学・体験していただき、平均来場者数は600名を超える程の注目度となっています。

薬局事業



【事業運営会社】

株式会社そえる / 株式会社クレインファーマシー
/ 有限会社久山薬局 / 有限会社羽幌調剤センター
/ 有限会社タカダ薬局 / 株式会社村井薬局

地域の皆様に信頼される 薬局をめざして

道内に60を超える薬局を展開。地域の皆様の健康生活をサポートするとともに、薬剤販売をはじめ総合的な相談窓口としてサービスに努めています。

国内で最も高齢化が進んでいる北海道において、60を超える薬局を展開しています。各薬局では、地域の皆様の健康生活をサポートするとともに薬剤から介護までの総合的な相談窓口としての機能を発揮するため、地域性や環境に対応した適切なサービスの提供に日々努めています。



かわるすべての人に手や心を「そえる」、法令に「そう」「そえる」クリーンな会社、SO WELL「非常にうまくいく」「充実した」「順調です」という想いが込められています。

昨今の調剤薬局事業は、「医療費の抑制」や「薬局に求められる機能変化」や「競合他社の動向」などの事業環境の変化が大きくなってきています。今回の会社統合によって、ほくたけHDとしての連帯力やシナジーを生かしつつ変動する事業環境の変化に対応できるような強靱な経営体質を持った会社へと生まれ変わりました。

わたしたちは、総合ヘルスケア企業グループの一員として地域の皆様に寄り添い、毎日が笑顔にあふれる薬局づくりをめざします。



あたらしい「ほくたけHDの薬局事業」として

2022年10月、薬局事業会社のうち4社が合併し、『株式会社そえる』が誕生しました。

新会社「そえる」には、患者様・地域の皆様に手や心を「そえる」、薬剤師・医療事務・管理栄養士等新会社にか

介護事業



【事業運営会社】

株式会社マルベリー / 株式会社モルス

皆様に寄り添う自立支援の パートナーとして

100歳時代を迎えると言われながら、平均寿命と健康寿命の年齢格差の拡大が進むなど、介護を必要とする人が確実に増え続けています。私たちは、思いやりのある良質なサービスの提供を通して、一人ひとりが安心して快適な生活を送れるよう支え続けます。

ロボット技術を活用した 福祉用具の登場

介護業界での大きな変革としてロボットの活用が進み、続々と新しい機器が導入されています。(株)マルベリーでは、そのための人材育成・資格取得支援として、全営業担当者が福祉用具専門相談員の資格を取得し、福祉用具プランナー、リフトリーダー育成、車いす整備士育成を進めています。またレンタルの車いすなども時代とともに変化していく中、福祉用具展示会や病院先に出向いての様々な介護用品の研修会も定期的を実施しています。

サービス付き高齢者向け住宅・ 各種サービス事業所

(株)モルスでは、2025年には65歳以上の高齢者が人口の3割以上を占めると云われる超高齢社会に向け、「居宅介護支援」「訪問看護」「訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「地域密着型通所介護」「介護タクシー」の事業所を運営しています。また、それらのサービスを組み合わせることで「医療」や「介護」が必要となった時にも安心して住み続けられる、サービス付き高齢者向け住宅も運営しています。選ばれる



住宅・選ばれるサービスを目指した医療・介護モデルを実現していきます。

企業・病院内保育園の運営を支援

女性が安心して仕事と出産や育児を両立できる職場環境の整備が国全体で進められる中、企業内保育園、病院内保育園の受託運営を積極的に展開しています。事業主様が保育園を設置・運営する場合、保育士の確保や法的理解など様々な問題が生じます。マルベリーでは設置手続きから施設設計および保育士確保を含めた実際の運営に至るまでを担い、事業主様の負担を軽減。女性の社会進出と子どもたちの明るい未来に貢献しています。

ICT 事業 & 関連事業



【事業運営会社】

株式会社アドウィック / 株式会社北海道医療情報サービス

医療機関様の円滑な運営と 経営をサポート

医療機関向けソフトウェアの開発・販売における専門性を追求。メディカル関連の様々なITソリューションの提案・構築を通じて、医療現場および医療経営を側面からサポートします。

医療機関の基幹業務システムを提供
「病院」・「クリニック」・「薬局」・「介護施設」

【病院・クリニック】

医療機関で使用される窓口会計システムや電子カルテシステムを中心に院内の各部門システムまで様々な医療システムのご提案・販売・導入サービス・保守サービスを行っています。

【薬局】

薬局で使用される調剤システムを中心に投薬待ち表示システム、薬剤師支援システム、監査システム等薬局内で必要とされる様々なシステムのご提案・販売・導入サービス・保守サービスを行っています。

【介護施設】

様々な機能を持った介護施設が増加する中で、各施設に合ったシステム提案を行なっています。



医療機関と患者様を繋ぐシステムを提供
「シマフクロウ・シリーズ」



シンプルで患者様が利用し易いWeb予約・受付システム

Web受付操作はきわめて簡単で事前の面倒な登録などは必要ありません。携帯電話・スマートフォン・パソコン・タブレット・固定電話等のすべてのデバイスに対応し、混雑状況を確認した後にその場で診察受付が行えます。



開業開設の支援や
SPD請負などの経営支援

(株)北海道医療情報サービスでは、開業および新築・増改築や大型備品更新における開設サポート、院内院外双方のSPD業務請負、経営コンサルティング業務を行っています。医療制度の改革等を背景に、厳しい環境下にある医療機関や調剤薬局の経営を、中長期およびスポット的な対応でサポートしています。





株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

TEL. 011-633-1030 URL. <https://www.hokutake.co.jp/>



UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物
油インキを使用して印刷しています。